

## 「糖尿病について」



内分泌代謝内科 家城 恭彦

われわれの体内では、膵臓で作られるインスリンの働きによって、ブドウ糖が細胞内に入りエネルギー源となります。何らかの原因でインスリンが少なかったり働きを邪魔されたりすると、細胞内に入れず血管にとどまるブドウ糖（血糖）が慢性的にふえ、糖尿病となります。免疫異常によってインスリンが作られなくなるタイプ（1型）や、遺伝的背景に過食や運動不足など生活習慣の影響が加わって、インスリンの働きが悪くなるタイプ（2型）などがあります。

高血糖に伴い、口渇や多飲多尿、体重減少などの症状が出現しますが、高血糖が長期間持続した結果全身に現れてくる血管障害（合併症）の方がむしろ問題です。比較的細い血管に生じるもの（眼、腎臓、神経の三大合併症）や、高血圧、脂質異常、喫煙など他の要因も加わって比較的太い血管に生じるもの（動脈硬化症）があり、それらがしばしば生活の質を落としたり、寿命を縮めたりする原因となるからです。

いずれのタイプも大なり小なり膵臓の機能低下が関与しているため、現時点では糖尿病を完治させる治療法はないと言わざるを得ません。インスリン不足が大きい1型ではインスリンの補充（注射）が不可欠ですが、インスリン不足がさほどでもない2型では、まずは生活習慣の是正を行ってインスリンの邪魔の軽減に努めます。それでも効果不十分な場合は薬物治療を併用します。



動脈硬化症を背景に発症した糖尿病性壊疽

### 予告 平成30年度 地域医療部 担当者交流会・講演会のお知らせ

（まちなか総合ケアセンター共催）

日時：平成30年11月8日（木） 16：00～19：00 場所：富山市民病院 3階講堂

●担当者交流会 16：00～17：00

- ミニトーク 医療機関と在宅のスムーズな連携を目指して  
「医療介護連携の実際～ケアマネジャーの立場から」  
もなみ指定居宅介護支援事業所 酒井 昭子氏

○グループワーク

●講演会 18：00～19：00

- テーマ：幸福論：実践的幸福論 ～患者さんも医療者もみんなが必ず幸せに！
- 講師：名田庄診療所 中村 伸一先生



# 研修・講演・勉強会のご案内

10月分

## 1. 地域連携症例検討会

日時：10月9日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

### 1) 症例検討

(1) 仮題『有経女性の不正出血により発見された進行子宮体癌症例』

産婦人科 齋藤 真実

(2) 『非ホジキンリンパ腫の2例』

血液内科 寺崎 靖

### 2) ミニレクチャー：『起立性調節障害の診断・管理について—当科での取り組みについて』

小児科 橋本 郁夫

小児、特に小学生から中学生において不定愁訴が主な症状となる起立性調節障害は、本人のみならず、家族や学校など小児の社会生活にも影響を及ぼすことがあり、しばしば不登校の原因にもなります。しかし、胃腸炎症状や倦怠感、頭痛など重篤な内科的症状によりしばしば主症状に対応した治療が漫然と続けられることがあり、症状の改善

が得られないことにより、患者のみならず医療側のストレスとなります。当科ではこのような患者に対して患者その家族から症状を聞くことから始まり一緒に治していくように取り組んでいます。これまでの経験をもとに独自の視点から我々の取り組みについて紹介します。

## 予告

11月の地域連携症例検討会は、時間を拡大して症例報告2例、ミニレクチャー2題を予定しています。※参加については、事前申し込みが必要です。詳細についてはふれあい地域医療センターTEL076-422-1112(代)までご連絡お願いいたします。

日時：平成30年11月13日(火) 19:00~21:00 場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例 (担当) 精神科・整形外科  
②ミニレクチャー (担当) 呼吸器内科・外科

## 2. 内科CPC

日時：10月9日(火) 17:30~  
場所：医局カンファレンス

## 3. 緩和医療部会学習会

日時：10月9日(火) 17:45~18:45  
場所：看護外来

- テーマ：症状コントロール「呼吸器症状」
- 講師：緩和ケア内科医師 桶口 史篤

## 4. 医療機器研修会

日時：10月23日(火) 17:45~18:15  
場所：看護外来

- テーマ：AEDを正しく使用するために  
~ショックボタン押しでも大丈夫ですか?~
- 講師：臨床工学技士 福島 望

## 5. 糖尿病研究会定例学習会

日時：10月18日(木) 17:45~18:30  
場所：看護外来中待合室

- テーマ：今さら聞けないシリーズ  
3Cを学ぼう(CGM・CSII・Carb)
- 講師：糖尿病看護認定看護師 金盛 佐紀子

## 6. 感染予防対策学習会 ※すべて同じ内容です

日時：10月16日(火)①12:15~12:50 ②17:30~18:05  
10月25日(木)①14:00~14:35 ②15:00~15:35  
10月31日(水)①12:15~12:50 ②17:30~18:05  
場所：講堂

- テーマ：インフルエンザ対策
- 講師：感染管理認定看護師 安田 恵

## 7. 接遇力向上研修会

日時：10月18日(木) 13:00~16:00  
場所：講堂

- テーマ：アンガーマネジメント
- 講師：置塩 良政 先生

## 8. 褥瘡セミナー(ミニレクチャーと事例検討)

日時：10月26日(金) 17:30~18:30  
場所：講堂

- 内 容：褥瘡対策チームの目指すところ  
~在宅よりの持込褥瘡のケアを通して~
- 講 師：褥瘡対策チーム  
医 師 野村 佳弘・薬剤師 石原 章奈  
管理栄養士 小澤 佳恵・理学療法士 稲生 美紀  
認定看護師 関口 聡子

## 9. NST学習会

(1)日時：10月1日(月) 17:30~19:00  
場所：講堂

- テーマ：栄養素の生化学/代謝(呼吸商/必須アミノ酸)
- 講 師：黒部市民病院医師 月岡 雄治先生

(2)日時：10月22日(月) 17:30~19:00  
場所：講堂

- テーマ：静脈栄養法(リフィーディング・脂肪乳剤)
- 講 師：薬剤師 福武 純子  
\*今回は、症例検討会があります。

## 10. 看護研修

《陸美会教育講演》  
日時：10月10日(水) 17:30~18:30  
場所：講堂

- テーマ：PNSの基本~リーダー業務・グループ活動・リジャッフルについて~
- 講 師：福井大学医学部附属病院  
統括看護部長 上山 香代子先生

《新任看護職員研修》  
人工呼吸器管理研修(4月に予約いただいた方のみとなっております)  
日時：10月30日(火) 13:30~17:00  
場所：講堂

《看護補助者研修》  
※①②とも同じ内容です  
日時：10月29日(月) ①13:30~14:30  
②15:00~16:00

場所：講堂  
内容：講義 感染対策 医療安全  
対象：看護補助者

《衛星研修S-QUE Eナース》  
※予約申込が必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。  
(TEL 076-422-1112(代) 内線2989)  
○テ — マ：症状別褥瘡予防とスキンケア  
視聴期間：10月10日~11月2日  
○テ — マ：患者さんのQOLに基づいた排尿管理の実践  
視聴期間：10月23日~11月16日

《衛星研修S-QUE 新特別企画》  
※予約申込が必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。  
(TEL 076-422-1112(代) 内線2989)  
○テ — マ：医療の安全に関する研修  
~病院における患者・家族の暴力に対する医療安全力を高める~  
視聴期間：10月2日~11月30日



# 院内の専門職員のご紹介

## 呼吸リハビリと認定理学療法士の仕事

認定理学療法士は、職能面、専門的臨床技能について認められたものを指します。日本理学療法士協会11万人のうち、479人が呼吸分野の認定理学療法士資格を持ち、富山県には3名が在籍しています（2017年現在）。

呼吸理学療法の目的は、呼吸困難感の軽減とそれによるADLやQOLの向上に寄与することです。呼吸苦があると、誰しも動くことが億劫となるだけでなく抑うつ的となり、コミュニケーションも億劫になります。身体活動だけでなく精神活動も低下し、ADL、QOLは共に低下してしまいます。リハビリテーションを進めるにあたり、呼吸苦を取り除くことはとても大切です。そのためには、換気や酸素化の改善、呼吸仕事量の軽減が重要となります。呼吸練習、効率的な

公益社団法人 日本理学療法士協会  
認定理学療法士（呼吸）

リハビリテーション科 **福田 紗恵子**



日常生活動作指導を実施し負担軽減に努めます。

近年、人工呼吸器管理下でも、酸素化の改善や精神・運動機能維持を目的に早期運動、早期離床が推奨されています。当院でも2016年4月からICUに理学療法士が専従配置され、積極的なリハビリ介入を行っています。また、RST（呼吸療法サポートチーム）活動に参加し、呼吸療法のデバイスが適切か、安全で効果的に行われているかなど他職種と連携し患者サポートをおこない、研修会を開催し知識の共有化を進めています。

呼吸器疾患を有しても、最期まで住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、次につながる急性期の呼吸理学療法を進めて参ります。今後ともよろしくお願い致します。

## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

# 10月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	家城	15日	整形外科・ 関節再建外科	澤口	5日、26日、30日
	大田	5日、25日、26日、29日、30日		五嶋	11日
	寺崎靖	16日		重本	26日
	水野	22日		岩井	26日
	茶谷	10日	呼吸器・血管外科	瀬川	2日、11日
	牧石	29日		湖東	4日
	堀越	19日		土岐	19日、23日
	橋向	30日		武内	25日
	西野	19日	麻酔科	松浦	31日
	村松	23日、25日		黒田	31日
外科・消化器外科・ 乳腺外科	藤村	10日、11日	皮膚科	野村	31日
	萩野	12日	産婦人科	長谷川	9日、25日、26日
脳神経外科	宮森	10日、12日		大田	24日、25日
	毛利	10日	眼科	山田	11日、12日
			耳鼻いんこう科・ 頭頸部外科	加藤	4日、5日、26日

### 編集後記

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。  
TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

今年は、猛暑に大型台風など記録続きでした。夏好きの私でも、少ししんどい夏でした。9月に入ってから大雨や地震などの災害が続いており、被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。幸い、富山県には大きな災害がなく、いざという時の備えへの意識は他県に比べて低いのではないかと思います。（きちんと準備されている方、ごめんなさい）恥ずかしながら、我が家も災害に対する備えはほとんどできていません。唯一、準備していた飲料水も連日の暑さのためか、あっという間になくなっていました。今年こそは、本格的に災害グッズの準備をしようと思った夏でした。

看護科 田中 理津子



作：病院ボランティア  
篠崎 住子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp